

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2024年12月

結果公表日: 2025年3月27日

回答率

事業所職員: 4名回答、回答率 100%

保護者様: 33名回答、回答率 80%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・環境に関して、広さは十分に確保しており、教室内の一部をパーテーションで区切るなど工夫をして空間を有効活用しながら個別のニーズに対応している。
- ・設備の不具合については総務課と連携して修繕を行っている。
- ・体制に関して、法令上の人員基準は満たしているものの、主に送迎の時間帯において教室内の職員数が限られてしまうことによって、安全管理の目が行き届きにくいこともあった。送迎時間等の工夫や調整を行うことで対応している。

○業務改善

- ・ミーティングで業務について話し合いを行い、振り返りを行う機会を設けている。
- ・職員の意見等を把握する機会を設け、業務改善に繋げている。

○適切な支援の提供

- ・業務前ミーティング時にその日に利用する児童への支援について話し合っており、方向性をまとめてから支援にあたることができている。
- ・業務後のミーティングについてはしっかりとした機会を設けることができているが、特記事項の共有等は行うよう努めている。

○関係機関や保護者との連携

- ・相談支援事業所の方には実際の活動の様子を見学いただいたり、電話にて支援等について相談することで連携を図っている。
- ・学校送迎時に担当の先生から引継ぎを受けるなど、児童のことについて情報共有を行っている。

○保護者への説明責任等

- ・送迎時の引継ぎなどで必要があれば時間を掛けて丁寧に引き継ぐように全職員が徹底している。
- ・事故等があった際にも状況や対応について迅速に説明を行っている。

○非常時等の対応

- ・マニュアルは用意されているものの、マニュアルを保護者が見る機会が設定されていない。保護者会やその他要望があった際に、マニュアルを提示し、保護者が確認できる機会を設定していきたい。
- ・緊急性が高いものについては上長、警察、医療機関と連携を行い、対応している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・教室環境においては、スペースや清潔感という観点で9割以上の方に良い評価をいただいた。
- ・職員の配置数については「わからない」「どちらともいえない」の割合が約25%と比較的多かったため、適切な職員配置と職員についての情報発信ができるよう改善していく。

○適切な支援の提供

- ・特性に応じた専門性のある支援についての項目や、支援プログラムについての項目は9割以上の保護者様から良い評価をいただいた。
- ・児童クラブや児童館との交流など、地域交流については実施できておらず、改善が必要である。

○保護者への説明等

- ・支援の説明、助言、日頃の情報共有については9割以上の保護者様に良い評価をいただいた。
- ・活動概要や行事予定については「わからない」「どちらともいえない」の合計が3割近くあるため、ご意見を踏まえ、改善していく必要がある。
- ・保護者同士の交流の場については「負担が増えるから、イベントがないのもひとつの利点」とのご意見をいただいたが、保護者会等の開催、実施方法については検討していく。

○非常時等の対応

- ・非常時のマニュアルや訓練についての項目は概ね良い評価をいただいているが、「わからない」とのご回答も多く、情報共有の仕組みを作っていく、十分な説明が行き届くよう改善する必要がある。

○満足度

- ・安心感を持った通所についての項目は全ての保護者様から良い評価をいただいた。
- ・「通所を楽しみにしているか」「支援に満足しているか」という項目についても9割以上の保護者様から良い評価をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・新人職員に役割を与えるなど、自己重要感満ちし、人員の定着、安定を計る。
- ・他事業所などの連携や地域イベントの企画を通して地域とつながりを持っていく。
- ・マニュアル、BCPなどをブログや連絡帳、保護者会など様々な場面やツールを用いて周知をおこなっていく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・新人職員に役割を与え、熱心に仕事に取り組んでおり、定着もできている。
- ・地域交流の場を設けることはできなかったが、課外活動を通して、課外活動先の施設の方や一般の方と交流する機会を設けることができた。
- ・マニュアルの周知徹底については現在も課題として残っており、改善策を検討する。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・情報共有をしっかりと行い、ニーズに合わせたきめ細かな支援ができています。
- ・活動では広く様々な能力が獲得できるよう、固定化せずにバリエーション豊かな活動を実施している。
- ・「安心感を持った通所」という点については全ての保護者様から良い評価をいただいている。

○改善点

- ・業務後ミーティングの時間を確保し、よりよい支援を目指す。
- ・保護者会の実施や地域との交流の場を設ける。
- ・活動概要や非常時のマニュアルの周知方法を改善する。事業所として周知する仕組みを作っていく必要がある。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者交流の場を設ける。
- ・外部の関係機関とのより綿密な連携を行っていき、より適切な支援が行えるような仕組みを作る。
- ・保護者と子どものニーズにしっかり目を向け、教室内でしっかりと情報共有を行い、教室全体で保護者、子どもの目標の実現に向けた取組を行う。
- ・職員の支援に関する悩みや不安を共有できる場を設け、やりがいを持って子どもに向き合い、職員の定着を図っていく。

○1年間で取り組む具体策

- ・会社の理念や教室の目標に常に立ち返り、よりよい支援とは何か、子どもたちの為にできることはなにかを考えて行動する。
- ・職員体制を充実させ、個人のスキルアップもはかることで、より適切な支援につなげる。
- ・外部機関との連携をはかり、保護者、子どものニーズにあった支援を行う。
- ・非常時のマニュアルや活動概要について周知できる仕組みを検討し、改善を行う。
- ・保護者会や地域交流の場を設ける。